

情報連絡員報告・9月分

**2ヶ月連続で売上高のDIは好転、収益状況のDIは若干悪化
～依然として原油の高騰により中小企業の収益は悪化～**

<東京都中央会>

9月の情報連絡員報告によると、2ヶ月連続で売上高のDI（前年同月比）は好転（6.7ポイント）し、収益状況のDIは若干だが悪化（2.0ポイント）した。特記事項からは稼働率、出荷量の増加や売上が数年ぶりに好成績をおさめたという報告もあったが、全体的には原油の高騰による資材の値上げや燃料の高騰は依然として中小企業の収益を悪化させている。施策による燃料価格安定化を要望する声もあった。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計。

特記事項欄より

「食料品」

- ・「中食」という言葉がはやっているようだが、スーパーの惣菜が充実している。中食産業が上向いているというのはスーパーの惣菜と弁当が売れているからのようだ。

「繊維・同製品」

- ・ウオームピズは帽子業界にとって新たな需要が期待される。今のところニット商品をはじめ、おしゃれな防寒帽の売れ行きが順調。

「木材・木製品」

- ・9月の売上は数年ぶりに好成績となった。回復への期待感はずかながら高

まりをみせている。仕事量も昨年と比較すると増加の傾向にあるが、まだまだ安定していない。

「化学ゴム」

- ・塗料の出荷は上昇を続けてきたが、ここに来てやや足踏み状態となった。原油価格の高騰により溶剤類の値上がりが懸念される。

「窯業・土石製品」

- ・鉄筋や型枠の値上げに加え、重油も値上がりが続いているのでコスト高の製品安という厳しい状況で収益状況は悪化の一途をたどっている。

「鉄鋼・金属」

- ・原材料価格の上昇に伴い今夏、製品の

値上げを実施したが、材料価格の上昇が止まらず、焼け石に水の感もある。依然として厳しい状況。

「その他製造」

- ・稼働率は増加しているが単価があがらず、仕事量ほどの収益はあがっていない。人手不足の状態となっているが求人もできず、雇用状況はむしろ悪化している。

「卸売業」

- ・国際相場で原料の銅地金の高騰に見舞われ、製品価格の上昇に混乱している。仕入高の売上安にならないように警戒している。

「小売業」

- ・9月になって古書の流通量が多くな

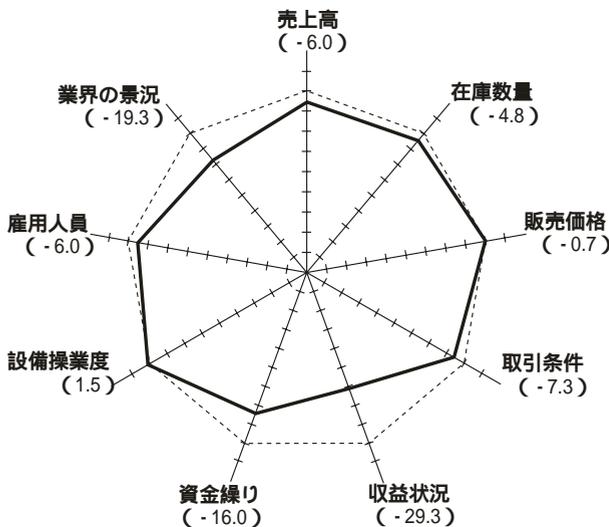
り、販売価格は下がっているものの量でカバーし、前年と同水準の売上が維持できた。しかし顧客数の減少は著しく、本離れが進行している。

- ・夏場は豆腐需要期であったが近年では一向に追い風にならず、消費減少で推移している。豆乳ブームも一時のもので大手企業の一人勝ちで終わった。ここ2,3ヶ月はダイエット志向から寒天が爆発的に売れたが一過性のものだった。

< 要望事項欄より >

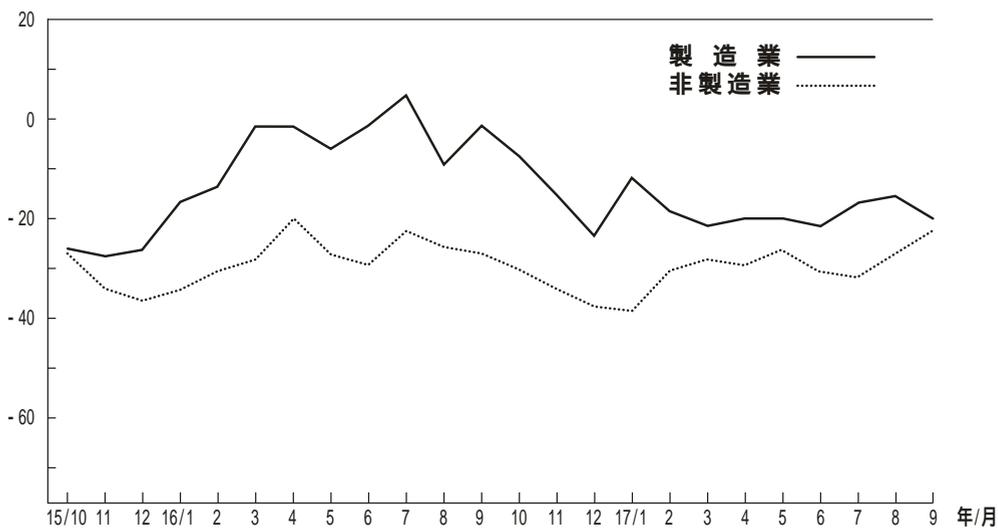
- * 専門業界の活性化のために小規模企業への支援を [印刷]
- * 燃料の価格を安定化させる施策を実施してほしい。 [運輸業]

9月のレーダーチャート（全産業、前年同月比DI値）



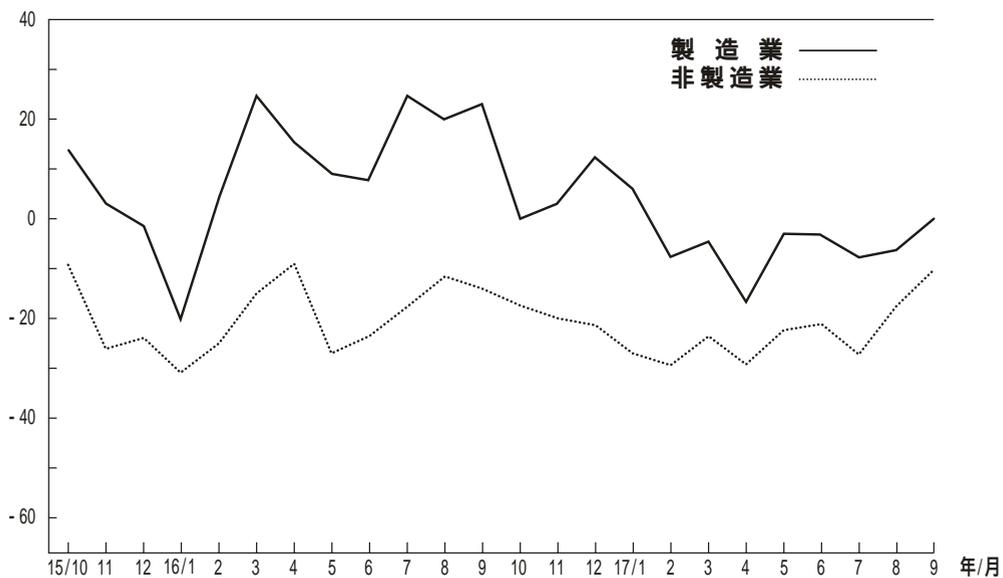
業界の景況DIの変化 (H15.10 ~ H17.9)

(前年同月比)



売上高DIの変化 (H15.10 ~ H17.9)

(前年同月比)



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。